

【評価実施概要】

事業所番号	171000565		
法人名	医療法人豊生会		
事業所名	グループホームすぎの子の郷		
所在地	石狩郡当別町春日町97-1 電話0133-25-2801		
評価機関名	NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年1月27日	評価確定日	平成21年3月13日

【情報提供票より】（H21年1月5日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10 人	常勤7人，非常勤	3人，常勤換算2.95人

（2）建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 2 階部分		

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	45,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	有（135,000 円）		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,000 円		

（4）利用者の概要（ 1 月 5 日現在）

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1	要介護2	2		
要介護3	1	要介護4	4		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 80.6 歳	最低	61 歳	最高	92 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	東苗穂病院・とうべつ整形外科・北海道医療大学歯科内科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは緑が多く残る住宅街に建てられ、1階は通所介護、訪問介護施設、2階はグループホームの多機能密着型の施設である。室内は明るく木のぬくもりがあたたかい、ゆったりとした空間造りになっている。利用者は近隣住民と一緒に菜園や花壇づくりなど、自然を楽しみながら、穏やかに暮らしている。また運営母体が医療法人であるため、医療体制が充実しており多様な医療サービスが受けられている。職員はやさしく笑顔で接しており、家族の訪問も多く、家族との交流や地域との連携が積極的に行われているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4） 課題であった家族等への報告は家族の来訪時、電話報告、広報「さとだより」にて利用者の暮らしぶり、健康状態等を詳しく伝えている。昨年には「はっつつ当別家族会」が結成され、家族の意見交換が活発にされてホームの運営に活かされている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） 全職員は自己評価、外部評価の意義を十分に理解しており、前回の外部評価の結果を踏まえて改善に取り組んでいる。今回の自己評価も職員全員で取り組んで、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4, 5, 6） 運営推進会議は職員、家族、地域代表、包括支援センター職員参加の下、定期的開催されている。ホーム運営、行事報告、利用者の状況、運営上の課題や地域の交流などの意見交換がされ、サービスの質の向上に繋がるように取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7, 8） 家族来訪時に意見、要望、苦情などを聴くようにしており、意見箱も設置されている。これらの意見、要望は職員会議、運営推進会議で話し合い、運営に反映されるようなシステム作りがされている。
重点項目	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） 町内会に加入、夏祭りや清掃活動など職員と利用者が一緒に参加している。また町内会の文化祭には利用者の作品を展示するなど、地域行事に積極的に参加して交流に努めている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、一緒に、楽しく、豊かに、家族と共に、地域と共に」というホーム独自の理念を策定し、日々、その理念に根ざしたケアに全職員で取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をスタッフルームに掲示し、管理者と職員は常にそれを確認・共有すると共に理念カードを携帯して、運営方針や具体目標を互いに確認しあって業務についている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に会員として加入。地域の祭りや文化行事、清掃活動に参加している。また保育所、小学校等のイベント等を通じての交流や1階にあるディサービスセンターが行う事業にも参加するなど、積極的に住民との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は内部・外部評価の意義を十分に理解している。前回の外部評価についても、その結果を踏まえていち早く改善に取り組んでいる。改善事項等は職員はもとより推進会議委員、家族にも周知されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を隔月ごとに開催し、その役割はホームからの一方的な報告にとどまらず意見・要望を受けて、今後の課題に関するモニター役にもなりつつある。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町関係者、関連団体と連絡を密にしている。また運営推進会議委員としてホームの実情や取り組み、課題等について具体的な意見をいただくなど密接な関係作りに努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時や毎月発行の「さとだより」で日常生活の様子や健康状態なども詳しく伝えている。金銭関係については、会計明細書と領収書を添えて報告している。訪問時に出納簿を見せ確認印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来訪時に意見、要望、苦情など気軽に話せる雰囲気づくりに努めている。意見箱もあり、これらの意見・要望は職員会議、運営推進会議で話し合いされ、運営に反映できるシステムとなっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者、家族との信頼関係を築くため、職員配置は出来るだけ固定している。やむを得ない異動の場合には、利用者への紹介や家族への周知等の配慮に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の資質の向上を重視し、毎月1回勉強会を開催している。また外部研修会については職員個々の意見を聞き積極的に研修参加させている。研修修了後は勉強会での報告、レポート回覧などで、全職員に伝達する仕組みになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に入会して、他ホームの訪問見学、合同研修会を開催するなど、互いに交流を深め、サービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者がホームの雰囲気に馴染むように事前に見学してもらい、家族と相談しながら安心感をもってもらえるよう段階的な工夫をしている。入居後は、環境の変化に留意し、同居者とのコミュニケーションをサポートするようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族的ホームをめざして利用者の不安、苦しみ、喜びを知ること努め、共感できる関係を築いている。利用者の得意な事の力を発揮できるよう機会や場づくりに配慮、工夫されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は個々の思いや意向を、本人や家族を通じて十分に把握しており、把握困難な時は家族や職員等で情報交換をして、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見・要望等を取り入れ職員、ケアマネージャと十分協議を重ね、心身の状況、生活能力を考慮した、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月カンファレンスを実施し、状況の変化や本人、家族の要望を取り入れ随時、見直しを行い現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて外出、買い物、通院などの送迎支援をしている。法人内のデイサービス行事にも参加するなど本人の要望に応じ柔軟な支援をしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	継続的にかかりつけ医による受診ができるように支援している。訪問診療、訪問看護は利用していない。毎日の看護師による健康管理、定期的な訪問歯科を行っている。必要に応じて専門科の受診出来る体制にある。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時の「重要事項説明書」に、重度化した場合の対応方針が明記されており家族に説明し、関係者全員で方針を確認、共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応は一人ひとりの尊厳が保たれるように、丁寧に対応している。個人情報記載書類等の取り扱いも、十分注意され厳重に保管している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者との日常会話から、意見や希望を聴き、その人らしい暮らしができるように、買い物、散歩、調理の手伝いなど、それぞれ希望に添って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の食材をとりいれ、一人ひとりの好みに配慮した献立を立て、調理の下こしらえや盛り付け、片付け等は職員と利用者が一緒に行い、同じテーブルで楽しい雰囲気です。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一人ひとりの体調に配慮しながら、利用者の希望に添って、いつでも入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の得意なこと、出来ることを把握し、一人ひとりが個々の役割を發揮できるよう場面設定を行い支援している。またホーム内での合唱・麻雀・習字など楽しみながら生活できるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候・体調・希望に合わせて、日常の散歩、買い物、ドライブなど積極的に戸外に出る機会をつくり支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は安全面に配慮した見守り支援をして、かぎをかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアル・連絡網を作成し、年2回の避難訓練を地域住民の協力を得ながら実地し、災害時の非難場所も確保している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理士の相談、助言を得る体制にあり、摂取カロリー、栄養バランスが考慮され、一人ひとりに合わせた献立表が作成されている。また個々の食事、水分摂取量をチェックして支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく広く、季節に合わせた絵画が飾られ、自由にゆったりと寛ぐことができ、居間・キッチン・トイレ・浴室など共有空間は利用者の安全に配慮された造りになっている。建物の採光・温度湿度・臭気・換気には十分配慮され、心地よく過せるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の好みに合わせて、家族の写真、習字、俳句の短冊等が飾られて、馴染みの家具やベットが置かれ、心地よく過せるように工夫配慮されている。		

 は、重点項目。